



進めよう ともに
福祉の町づくり

福祉 なちかつうら

2025

3

社会福祉法人 那智勝浦町社会福祉協議会

〒649-5331 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大字天満1418番地2（那智勝浦町福祉健康センター内）

TEL:0735-52-5252/FAX:0735-52-3700/E-mail: nachikatsushakyo5252@train.ocn.ne.jp

令和6年度 福祉健康まつり を開催しました！



2月22日(土)、福祉健康センターにて、令和6年度福祉健康まつりを開催しました。岡崎晴賀会長の開会の挨拶、ご来賓の堀順一郎町長のご挨拶の後、わかば保育園・下里こども園の園児による歌とダンス、江戸芸かっぱれ勝浦芳紀会によるかっぱれが行われ会場を盛り上げてくれました。その後読み聞かせボランティアによる那智勝浦町の民話を題材にした紙芝居が行われました。屋内の舞台では、マジックサークル青い鳥によるマジックショーが行われ、不思議と驚きがいっぱいのマジックに子どもたちは興味津々でした。福祉健康センター屋外では、いなほ作業所、南紀ひまわり作業所、カフェコッパ、交流センター太田の郷、農家民泊JUGEMU、jam factory睡花にご参加いただき、菓子パンや洋菓子、サンドイッチ、おまぜ、グリーンカレー、チャイ、ジャム等の販売が行われました。また那智勝浦町役場防災対策室による防災コーナー、福祉委員によるシチューの炊き出しを行い、防災への意識を高めることができました。福祉健康センター内では、ワークショップとして「お雛様かざり」「ビーズストラップ」づくりの体験が行われ、子供から大人までたくさんの方にご参加いただきました。また読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせコーナーや、福祉用具の展示コーナー、里親支援センターほっとのコーナー、那智勝浦町の社会福祉法人である高瀬会湯ごりの郷・いなほ作業所・わかば保育園の作品展示、南紀ひまわり作業所の展示、ふくしフォトコンテストの入賞作品の展示、福祉体験学習や、いきいきサロンの様子を展示し、地域や学校で行っている福祉活動の様子をご覧くださいました。車いす体験、高齢者疑似体験、わなげ、ストラックアウトを体験してスタンプを集めるスタンプラリーは、楽しみながら福祉に触れるきっかけとなりました。最後はお楽しみ抽選会を行い、たくさんの方にご参加いただきました。開催にあたり、各地区の福祉委員、福祉団体関係者の皆様には、前日並びに当日の早朝からご協力いただき、誠にありがとうございました。

Photo Gallery 福祉健康まつり フォトギャラリー



ふ だんのくらしのし あわせをつくる 学び 福祉体験学習

12月～3月、高瀬会・湯ごりの郷の協力のもと、那智勝浦町社協が町内の小中学校で福祉体験学習を行いました。12月18日には那智中学校にて1年生47名を対象に車椅子体験や視覚障がい疑似体験を行いました。体験を通して様々な人の立場を知り、思いやりや助け合う心などを育成するとともに、地域社会の一員としての自覚を高めることを目的としています。2人1組でペアを組み、介助する人、介助される人の両方の立場を体験し、車椅子を利用する人や、目が不自由な人はどのようなことに不便や危険を感じているかを体験し、その人が困っている場面での声のかけ方や、誘導方法などを学びました。自分自身が体験することで、日常生活の中にあるバリアについて「気づく」ことができ、車椅子を利用する人や、目が不自由な人の気持ちの一端や、思いやりの心に「気づく」きっかけとなりました。

1月29日と3月5日には、下里小学校にて6年生12名、5年生9名、4年生12名、3年生11名を対象に、高齢者への理解を深め、思いやりの心をもって接することができることを目的に、高齢者疑似体験と車椅子体験を行いました。3人1組になって、一人は車椅子に乗ったり、高齢者疑似体験セットを装着し介助される人を体験し、もう一人は介助する人、もう一人は2人の様子を観察する人の立場を体験しました。最後に児童たちからは「高齢者の方はいつもこんな状態で大変だと思った」「実際に体験すると大変だった」「普段歩くスピードで車椅子を押すと、乗っている人には速く感じるの、ゆっくり押さなきゃだと思った」などの感想があり、高齢者の気持ちや、必要なサポート、声かけなどのコミュニケーションの大切さについて考えることができました。

那智中学校



下里小学校



那智勝浦町社会福祉協議会では、子供たちに福祉に触れる機会を持ち、福祉を身近に感じていただき、福祉のところで支え合う担い手の育成を目指して福祉体験学習を行っています。また企業や、地域の団体等への福祉体験も行っていますので、ご希望の学校、または地域の方は、那智勝浦町社会福祉協議会 ☎52-5252までご連絡ください。

いきいきサロンはじめました!! ～川関区～

「年をとってもいきいき過ごしたい」「地域住民同士のきずなを深め、みんなで元気に過ごせる地域づくりをしたい」という想いから、世話人の声かけのもといきいきサロンを立ち上げ、1月21日「いきいきサロン川関区」が川関児童会館で第1回のサロンを開催しました。第1回ということで自己紹介から始まり、日常生活のことや趣味等の話をしました。ジャンケン大会では、Tさんがご自分の畑で収穫して提供してくれた大根3本が景品として用意されており、大変盛り上がりました。その後は茶話会をしたり、参加者で歌を歌ったりして楽しい時間を過ごしました。近くに住んでいてもなかなか会う機会が少なく、今回のサロンで参加者同士のことを知ることができ有意義な時間でしたと話されていました。



いきいきサロンの様子

12月・1月・2月に行われたいきいきサロンの様子を一部ご紹介します

小阪区・南平野区

12月14日、小阪区と南平野区合同のサロンは、南平野にてロケット発射の見学と、忘年会＆クリスマス会を行いました。残念ながらロケットは見えませんが、巻き寿司やケーキを食べながら、なぞなぞクイズをして楽しいサロンとなりました。



西部地区

1月8日、西部地区のサロンでは、訪問看護ステーションちょうりつの看護師の方のお話を聞きました。その後手作りのスゴロクをしました。1月から12月までの色川の行事を書いた素敵なスゴロクです。今年も皆に会える喜びを感じながら楽しい時間を過ごしました。



大野区

1月9日、大野区のサロンは、新宮警察署特殊詐欺被害防止アドバイザーによる講話と、ぬり絵カレンダー作成、まちがい探しを行いました。特殊詐欺被害は近隣でも多発していることもあり、大変参考になりましたと話されていました。



里区

1月14日、里区のサロンは、新年恒例の食事会でした。今回はcafeそらのランチバイキングに行きました。品数も豊富で皆さん大喜び。おしゃべりもして元気になった時間でしたと話されていました。



湊区

1月17日、湊区のサロンは、ラジオ体操、まちがい探し、ぬり絵を行いました。サロン立ち上げから行っているラジオ体操は、全身を使う運動のため、様々な病気の予防や健康づくりに効果があると言われています。



中ノ川区

1月22日、中ノ川区のサロンは、ぬり絵や脳トレ、けん玉・お手玉・トランプをしたほか、お餅を焼いて、ぜんざいを作りました。トランプはババ抜きをして盛り上がりました。出来たてのぜんざいを参加者で美味しくいただきました。



庄区

2月3日、庄区のサロンは、草餅づくりでした。炊飯器で簡単にお餅づくりができるそうです。参加者で出来たての草餅を食べて、残りはパックに入れて持ち帰りました。季節の行事なども工夫されています。



市野々区

2月13日、市野々区のサロンは江戸芸かつぼれ勝浦芳紀会による「かつぼれ」を鑑賞しました。お茶のあとは小グループに分かれトランプをしました。みなさん和気あいあいと楽しく過ごしました。



大勝浦区

2月19日、大勝浦区のサロンでは「思い出カルタ」をしました。昔なつかしい童謡のカルタで、歌いながらカードを探し、大変盛り上がります。そのあとはお菓子をおともにお茶会が始まり、みなさん近況についてなどお喋りに花が咲きました。元気に仲間に会える喜びをかみしめながら皆さん、いきいきサロンを楽しみました。



この広報誌は、
赤い羽根共同募金を
活用して作成しています